

サンリツ電機株式会社

最適な

電気制御システムを提案

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
試作可
小ロット



大阪市淀川区にある本社外観

主な事業内容

FAプラントの電気設計、制御盤製作、
PLC・ロボットのソフトウェア設計

主な取引先(納入先)

国内外の自動車メーカー、自動車部品
メーカー、化学・薬品・食品メーカーなど

主な製品

FA装置用制御盤、動力用制御盤、
各種ソフトウェア

業務内容
難易度の高い
プログラミングが得意

サンリツ電機は、昭和49年に現会長の牛山修二氏が制御盤の製造請負で創業。自社で制御盤の設計とPLC（プログラマブル・ロジック・コントローラ）の設計を始めた。平成10年には機械系2次元CADを導入して設計業務を拡大し、平成28年に法人化。当初5人だった社員も現在は16人まで増員し、事業を拡大している。

主な業務はFA設備やプラント空調・水処理設備の電気回路設計、制御盤や動力盤の設計・製作など。加えて、PLCやロボットの制御プログラム開発、試運転の立ち上げやメンテナンスを請け負う。なかでも、サーボモータや産業用ロボットなど高難度のモーションプログラミングを得意とする。

強み
あらゆる業種の
設備に関する

FA設備やプラント空調・水処理設備など、あらゆる業種の電気制御のハードとソフトを一括して請け負う。長年にわたり積み重ねてきた知見から最適な電気制御システムを提案できる技術力の高さが強みである。また、自動車や薬品、食品、金属などあらゆる業種の設備に携わってきたことで各業界

の独自ルールにも精通する。

社内での制御盤の製造では、社内自主検査書やチェックシートを用いて適時確認し、出荷後はメンテナンス情報などの記録・保存を徹底する。このようなドキュメント作成と管理により高水準で品質を維持しているのも同社の魅力だ。納期遵守にも努めており、同社へのリピート率の高さは、取引先からの信頼の証となっている。

技術継承
勉強会を通じて
技術を向上

令和5年には社屋を増築して産業用ロボットの開発環境を整備し、実機を用いてのロボットおよびサーボモータなどのプログラミング開発環境を強化した。今後、需要拡大が見込まれるスマート工場向けロボットの販路拡大が狙いだ。そのため、社内でのプログラミング技術の共有と底上げを図っている。

また、新たな技術への対応と並行して、全社員が保有する既存技術の向上と継承にも力を入れている。定期的な社内勉強会を通じて各々の得意分野を全社員で共有し、高度な技術力を基盤に顧客の多様なニーズに添えていく。こうした取り組みにより、「頼りにされるサンリツ・必要とされるサンリツ・愛されるサンリツになる」と牛山厚志社長は力を込める。

社長あいさつ



代表取締役
牛山 厚志さん

ものづくりへの情熱を持ち続ける企業、関わるすべての人に愛される企業をめざしています。そのために自己研鑽と利他の心を持ち、自らを成長させ続けることができる場であり続けます。

主な保有設備

- 2DCAD
Autodesk AutoCAD 2025
Autodesk製 3台
- 2DCAD
ECAD DCX 2024
ECADソリューションズ製 1台
- 産業用ロボット(6軸垂直多関節)
RV-4FRL
三菱電機製 1台
- 産業用ロボット(6軸垂直多関節)
MOTOMAN-GP4
安川電機製 1台
- 産業用ロボット(4軸水平多関節)
IXA-4NNN4518-5L-T2
IAI製 1台

大阪
06

住 所／〒532-0031
大阪市淀川区加島
4-1-8

T E L／06-6309-8217

F A X／06-6309-8227

創 業／昭和49年 4 月

設 立／平成28年11月

資本金／300万円

従業員／16名



サーボ・産業用ロボットの設計に強み



高品質な制御盤の製作で定評がある



<https://www.sanritsudenki.co.jp/>